



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

シェアする

Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 地域×クラウドファンディングの可能性 齋藤隆太さん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

地域×クラウドファンディングの可能性

シェアする

Tweet



齋藤隆太（さいとう りゅうた）

株式会社サーチフィールド取締役・FAAVO事業部長
宮崎県出身、法政大学人間環境学部卒業後、株式会社USEN入社。有線放送やweb商材の提案営業に従事した後、2008年7月、株式会社サーチフィールド創業に参加。営業・ディレクターとして、クリエイター支援事業に従事し、2012年6月、同社の新規事業として地元応援クラウドファンディングFAAVOを開始。

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
-街のイベント-
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する

ー地元応援クラウドファンディングFAAVOを事業化するに至った経緯とはどのようなものだったのでしょうかー

FAAVOの事業を着想したのは、2012年の1月ごろだったと思います。もともと宮崎県出身で、大学への進学と同時に東京に住むことになりました。他の地域から上京してきた人たちと同じように、東京に住んでからも同郷の人たちとの交わりは多く、県人会に参加したり、同郷の人だけが参加する飲み会を開催したりしていました。このような会合に参加する中で、「東京にいても自分の地元のことを話す機会は多いなあ」、「話す人は多いけど具体的なアクションまで起こしている人は少ないなあ」などとぼんやり考えていました。そういった中、東日本大震災が起こったことをきっかけに、ふと立ち止まって、自分の地元や家族のことを振り返ってみると、これから先、いつ何が起こるか分からない、だからこそ、「地元が好きという想い、そして地元のことを話す機会はあったのにもう一歩アクションにまでできれば良かったなあ」という後悔の念を抱かないよう、具体的なサービスや事業として、実現できればと考えるようになりました。

ちょうどタイミングよく、会社で新規事業を立ち上げるという話がありました。既存事業とのシナジーを考慮せず、自分がやりたいものを実現しても良いという事業方針でしたので、先ほどの想いを形にすべく、地域ビジネスを手掛けたいと思いました。ただし、一般的な地域活性化ビジネスではなく、東京にいる地方出身者が、生まれ育った地元に対して、何かしらアクションを起こすことをサポートするサービスを展開したいと思いました。具体的なサービスメニューを検討している時に地域版クラウドファンディングを考え、FAAVOを着想、2012年の1月から企画を始めました。

－クラウドファンディングを始めることにハードルは感じませんでしたか－

クラウドファンディングは他社でもすでに実施されていたので、さほどハードルの高さは感じませんでした。むしろ既存のサービスとどのような違いを持たせようかという点を考えました。

現在のFAAVOでも採用されているように、各地にフランチャイズ展開する「エリアオーナー制度」も最初の構想段階からイメージがありました。具体化する中で、ひとつひとつ確かめながら、また現地を訪れ、直接様々な方と対話をしながら事業アイデアをブラッシュアップしていきました。サービスのリリースまで一步一步踏みしめてやってきたという感じでしょうか。



FAAVO

都道府県別

検索ワードで探す

つくる

ログイン



地域で生まれたプロジェクト数
408件



地域に支援された合計金額
286,687,434円

エリア数
53地域

ふるさとクラウドファンディング

1 2 3 4

登録日 2016年2月26日（金曜）00:00



[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

シェアする

Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 地域×クラウドファンディングの可能性 - 2ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

地域×クラウドファンディングの可能性

－FAAVOの肝は何になりますか－

根底は「地域を盛り上げる」ということであり、東京にいる地方出身者が何かしらのアクションを地方に対して起こすことが大切だと考えています。そしてFAAVOは、地方出身者が何かを行動として起こそうとしていることを実現するためのプラットフォームになります。あくまでプラットフォームですので、起案者の信頼性さえ担保できていれば、どのような案件でも構わないというスタンスです。そのため、提案された案件が最終的にはクラウドファンディングとして成立するものもあれば、成立しないものもあります。

実は、原体験として、「地元で生活している時、地元があまり好きではなかった」ということがあります。大学への進学をきっかけに上京し、これまで住んでいた地元を離れてみて初めて地元の良さが分かるというところがありました。東京では「どこの出身なのか」と尋ねられる頻度が多く、自分の地元の様子や幼少期の体験を他人に話す機会が増えます。そうすると、必然的に、自分の地元の良さを自らの言葉で伝えたり、インターネットで地元の写真を探し見せたりするようになり、そして予期せぬところで「すごい」と驚いてくれることがあります。これまでになかった新鮮な驚きのような経験が積み重なり、「そんなに評価してくれるんだ、田舎なのに」と思うようになりました。

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する



－その原体験を実現する時に、手段としてクラウドファンディングを活用されただけで、逆に別の手段を見つけていたら、その手段にて他のサービスを作っていたのでしょうか－

そうですね。クラウドファンディングは、本当にひとつの手段に過ぎません。当初はSNSなどのデジタルにおけるリレーションを活用して、商品を紹介し、実売につながったら結構面白いのではないかと、といった着想もありました。知っている人が良いと言う商品であれば、買いたくなる心理が働きます。このような心理を可視化できるようなサービスも面白いかなあと考えていました。最終的に様々な点から検討し、削ぎ落としていった結果、クラウドファンディングになったというところがあります。

－FAAVOの立ち上げ時に一番苦労された点はどういったところでしょうか－

まちづくりケース集



街元気サイトのポスター



@machigenki

街元気 Facebook

経済産業省

中小企業基盤整備機構

株式会社 全国商店街 支援センター

一番苦労したことは、現地の理解でしょうか。サービスを検討していたのは3年前であり、当時はITリテラシーの高い人だけが知るような仕組みでした。そのため、現地のまちづくりや地域づくりを手掛けている方々の理解を得て、実際に使ってもらうまでの全体設計が大変でした。クラウドファンディングでもっとも重要な「起案する方を探しだす」という点が一番苦労しましたし、今でもこの点が一番苦労しています。



－FAAVOというプラットフォームを立ち上げる際には、社内のリソースでまかなえたのでしょうか。またクラウドファンディングを立ち上げるにあたっての許認可は必要だったのでしょうか－

リソースですが、既存事業がIT分野ということもあり、社内にエンジニアはいました。そういった意味では、リソースを差配できるという点は良かったと思います。

また、FAAVOは購入型のクラウドファンディングとなります。手数料やフィーは発生しますが、IT

分野を主業とする中において投資型のような重い事業ははじめづかったという背景があります。選択肢として購入型のクラウドファンディング以外の考えはありませんでした。

1 2 3 4

登録日 2016年2月26日（金曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 地域×クラウドファンディングの可能性 3ページ目

街と、人と、生きていく。
マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

地域×クラウドファンディングの可能性

－多様化するクラウドファンディングの中で、FAAVOは今後どのような展開を進めていけますか－

確かにクラウドファンディングは多様化しています。テーマやカテゴリーが細分化されています。その中でFAAVOは、地域づくりやまちづくりに特化しているという見方をされていると理解しています。根本的な考えは事業構想段階から変わっておらず、地方出身者が地方に対してどうアクションするかという点に今後もフォーカスしていきます。

ただ、お金を払うという取組は、すでに十分できていると考えており、次はお金を払うこと以外のアクションをしたいと思っています。FAAVOは、すでにクラウドワークスと業務提携を行なっていますが、お金以外の地方のアクションとしてクラウドソーシングがあります。クラウドソーシングの概念は、都市部の仕事を地方のフリーランスの方々でも自由に受注できるというのが基本概念です。クラウドソーシングを事例として挙げるならば、東京で生活をしていながら、地方の仕事をすることです。地元のマイクロタスクを東京にしながらにして、少しずつできるという流れが作り出せたらと思っています。そして最終的には移住促進にもつながることができればと思っています。地方ではUIターンの促進が行われていますが、移住を希望しても実際に移住することに対してのハードルは高いと感じています。そのハードルを超えるためには、クラウドソーシングによって働き方を多様化させ、地方の情報を取得しやすくすることによって、ハードルを超えるためのいくつかの階段を作ることができ、そして実際に移住につながると考えています。

ログイン

 会員（メルマガ）
登録はこちら！ メールマガジン
配信内容募集中 マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

－現在の移住施策とは少し異なる進め方ではないでしょうか－

地方で行われている移住の進め方には違和感があります。移住希望者に対して、「この土地にはとても良い環境があります」という伝え方をしていますが、移住希望者からすると少しピンぼけしたメッセージのような気がします。むしろ、地方とのつながりがあるとか、関係性が濃いか、そういったことの方が、UIターンの最初の説明としては正しいのではないかと思います。そういった点に立てば、IターンよりもUターンの方がやりやすいと思います。

また、UIターンの促進において、何を押していくのかと考えますと、やはりソフトの部分であり、かつそのソフトの部分をいかにつなげることができるかということではないでしょうか。海が綺麗、山が綺麗、食べ物がおいしいということから抜け出すことが必要だと思います。また、単に「家賃補助をします」と言われても、移住希望者にとってはまいちピンと来ないかと思います。費用負担は必要条件かもしれませんが、十分条件ではないと思います。

－移住促進におけるクラウドファンディングの役割とはどのようなものなのでしょうか－

例えば、自分がまったく知らない地域だけど、プロジェクトに共感して支援をし、現地を見てみようかなと思い、実際に訪れることができれば、これは移住のひとつのきっかけになっていると思います。「クラウドファンディングで支援した者ですが」という一言を添えて、地域を訪問するなど、実際に起こっていると思います。

そもそも自分の地元には、盆と正月しか帰らない方も多いと思います。帰っても十日ぐらいしか滞在せず、親と飲み、高校の友達と飲み、祖父母の家に挨拶に行ったらそれで終わりみたいな感じでしょうか。そうすると地元での新しいつながりはできなくなってしまう。そのような状況が続けば、都会のコミュニティーの方が徐々に大きくなっていきます。地元との関係値を増やす仕組みができるいいなと思います。

まちづくりケース集



街元気サイトのポスター



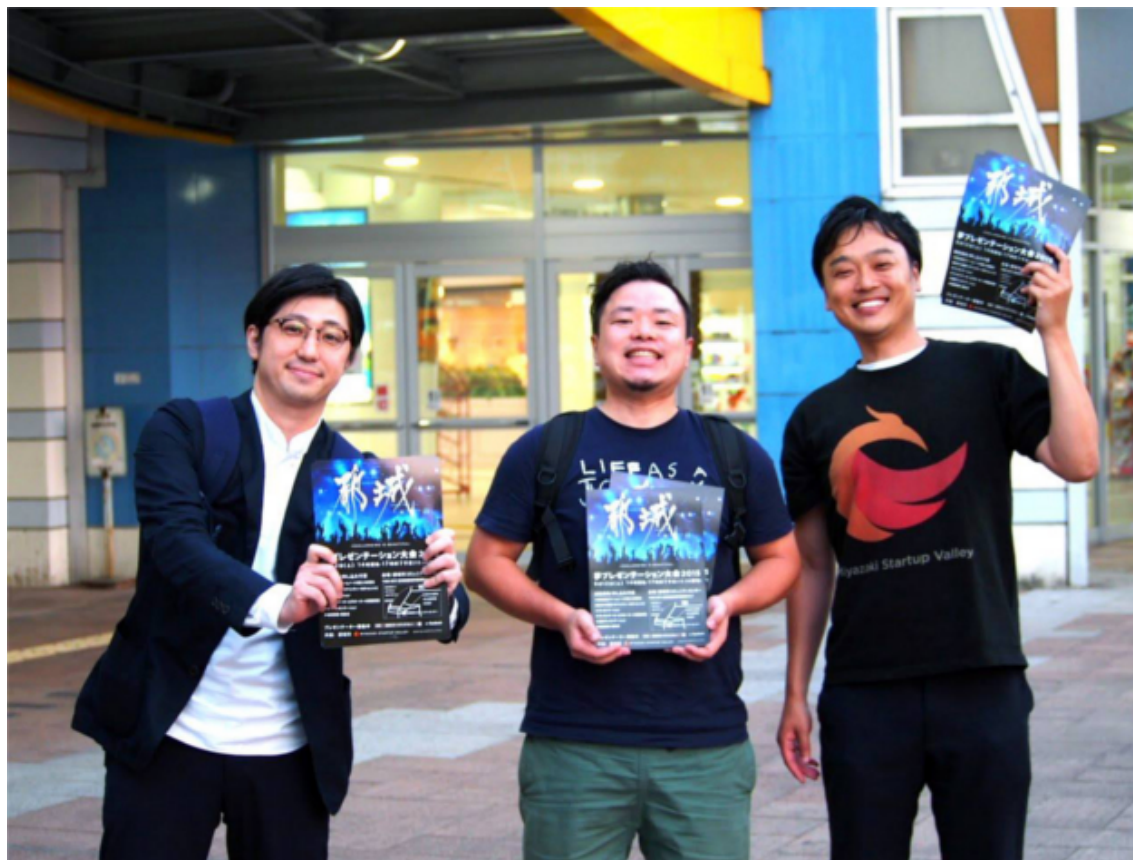
@machigenki

街元気 Facebook

経済産業省

中小企業基盤整備機構

株式会社 全国商店街 支援センター



1 2 3 4

登録日 2016年2月26日（金曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 地域×クラウドファンディングの可能性 4ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

地域×クラウドファンディングの可能性

－ 地方での事業組成におけるクラウドファンディングの役割とはどのようなものですか－

事業実施段階でいえば、0から1、いや1から3ぐらいまでがFAAVOのような購入型クラウドファンディングが貢献できるところだと思います。3から8ぐらいになれば、投資型クラウドファンディングや地域金融機関の融資、さらには投資などになると思います。その先は、さらなる借り入れなど、選択肢も広がると思います。

ただ、事業を進めるからには稼ぐという観点、100円お金出したら101円でもいいから回収しようといったビジネス感覚は大切だと思います。公益性の強い事業であっても絶対にマイナスを垂れ流すことは、駄目だという意識は大切ですね。

－ 今後どのような活動を進めていきますか－

地域のバリューチェーンを考えた場合、金融においてクラウドファンディングはひとつのオプションになると思います。そういう意味では、地域においてクラウドファンディング単体で奮闘するというよりも、地域金融機関、商工会議所、自治体と連携して、良きタイミング、良きフェーズでクラウドファンディングを使うということが普通になればいいなと思っています。FAAVOは、手数料ビジネスではないからこそ、各機関と連携し、どのようなプロジェクトでも支援していけるというのにしたいですね。地域で何かしらのプロジェクトを実施するために、お金が必要だと感じている人にとって、商工会

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

や金融機関に相談した時に、それだったらまずはFAAVOを活用してみればいいのかというように言っていただけたらと思います。クラウドファンディングといえばFAAVOではなくて、地域に行った時に、お金集めの手段としてFAAVOがあって、クラウドファンディングですといった流れでしょうか。

また、地域金融機関、商工会議所、自治体以外にも、現地の情報を扱うローカルメディアとも連携していきたいと思います。宮崎の場合、「宮崎てげてげ通信」というのがあります。通称は「テゲツー！」ですが、出身者を見るととても面白いです。月間40万PVに達します。ローカルな街ネタを扱っており、クラウドファンディングとも相性は良いと思います。様々な機関との連携と通じ、地方を離れた人が地元で貢献できるような仕掛けを作り出していきたいと思います。



シェアする Tweet



登録日 2016年2月26日（金曜）00:00



[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.